これからの庁舎のあり方を考える　series 3

新たな外部検討委員会が始動

5月24日、新たな委員の皆様を迎え、垂水市庁舎等のあり方検討委員会（新たな外部検討委員会）が開催され、市庁舎整備に関するこれまでの経緯や耐震診断等の現状報告、意見交換が行われました。

今回は、新たな外部検討委員会を設けた目的や審議事項とともに、委員になられた方々を紹介します。市民の皆様にこれからの庁舎のあり方を、より身近に感じていただければと思います。

設置の目的

これからの庁舎等に対する検討、協議には、庁舎の機能・規模・建設予定地・事業費等の検討項目に加え、耐震診断の結果を受け、現庁舎の耐震化・長寿命化をどのようにしていくか等の、新たな課題についても検討する必要が生じています。

これらの課題を解決するために

昨年度3月に市長に提出された提言書の中で、新たな外部検討委員会について、「多様な考え方を持つ委員を公募枠を設けて選任すべき」と提言を受け、本市では、これまで以上に市民意見を反映し、専門的視点からの審議をいただくため、公募枠を設けた新たな外部検討委員会を設置しました。

審議事項

市長の諮問に応じ、次に掲げる事項について審議を行い、その結果を市長に報告し、必要に応じて提言を行います。

① 市庁舎等の今後のあり方に関すること
② 市庁舎等の基本的方針に関すること
③ その他市長が必要と認めること

委員構成（任期2年）

- 学識経験者：5名
  （前委員会より3名増えました。）
- 市内公共的団体代表者：10名
- 公募委員：5名
  （今回から新設されました。）

委員紹介

副委員長

川井田 守

みんなの為に、現庁舎と新庁舎をどうすれば良いか、周囲と相談しながら、明るい未来に向かって、検討します。

委員長

鯵坂 徹

市民の皆様の多様なご意見をとりこみながら、委員の方々と意見交換と相互の理解を深め、いくつかの庁舎のあり方を提案できればと思います。

副委員長

後迫 タツヱ

全員で20名となった委員会の皆様の声が、充実したものになりますように、努力してまいります。

学識経験者（5名）	
鯵坂 徹	鹿児島大学大学院理工学研究科教授
片野田 拓洋	鹿児島大学法文学部准教授
川井田 守	鹿児島県建築士会垂水支部代表
村野 剛	防災士
馬籠 良英	一級建築士 東京都建築士事務所協会本部理事

公募委員（5名）	
中馬 吉昭	公募委員は、公平性・透明性を持って選考するため、庁内・外部委員で構成された選考委員会にて、応募者の氏名を伏せた状態で「熱意・意欲、理解度、問題意識、発想力、文章構成」の5つの視点で評価を行い、左記の方々に決定しました。
大迫 清美	
宮下 直弥	
市渡 しのぶ	
石堂 友美	

市内公共的団体代表（10名）	
橋口 敬二	垂水市地区公民館連絡協議会
嶽釜 静男	垂水市振興会長連絡協議会
中村 美穂子	垂水市民生委員協議会
森下 茜	垂水市PTA連絡協議会
前田 洋平	垂水市商工会
後迫タツヱ	垂水市商工会
山口 勇	垂水金融クラブ
黒川 徹	垂水市子ども・子育て会議
川畑 安正	垂水市消防団正副分団長会議
寺田 里美	垂水市社会福祉協議会

第1回委員会内容

①委嘱状交付、委員長・副委員長の選出
②垂水市庁舎等のあり方検討委員会についての説明
③これまでの新庁舎計画・外部検討委員会についての説明
④市庁舎整備に関する現在の状況について説明（耐震診断等）
⑤意見交換

外部検討委員会の詳細は垂水市公式HPでも紹介しています。

問 企画政策課庁舎建設係 ☎内線247